

企業庁経営戦略 目標指標
令和5年度 取組実績

基本理念：信頼の水で、地域の未来に貢献します

評価 ◎：目標（以上）を達成した。○：目標には達していないが、取組みが進んだ。
▲：目標と実績が乖離している。－：精査中

※：↑高いほど望ましい。↓低いほど望ましい

取組項目	指標	令和5年度		優位性※	取組の状況、課題	評価	今後の対応 (▲の指標)
		目標値	実績				
安全：安全で良質な水を供給します							
水質管理の強化	用水	水質基準適合率	100%	100%	↑	水質検査結果を浄水処理に適正に反映した。	◎
水質管理の強化	用水	かび臭物質濃度水質基準比率年間平均値	75%	96%	↑	適切な臭気対策（活性炭注入等）を行い、臭気の低減に取り組んだ。	◎
安全で安定した水の供給	用水	苦情発生件数	0件	8件	↓	苦情が出た8月は粉末活性炭を注入し水質基準値を満たしていたが、一時的な原水の濃度の上昇により苦情が出たもの。	▲
安全で安定した水の供給	工水	苦情発生件数	0件	0件	↓	濁度および水素イオン濃度について、条例および運用目標を遵守している。	◎
強靱：信頼を支える強靱なライフラインを構築します							
施設の計画的な更新 水道施設の耐震化	用水	浄水施設の耐震対策の進捗	1箇所	1箇所	↑	目標どおり吉川新浄水場建設工事を完了した。	◎
施設の計画的な更新 水道施設の耐震化	用水	ポンプ所の耐震対策の進捗	6箇所	6箇所	↑	目標どおり令和5年度までの耐震対策を完了した。今後令和9年度以降に南津田導水ポンプ場の対策を行う。	◎
施設の計画的な更新 水道施設の耐震化	用水	管路の耐震化率（耐震適合率）	42.0% (54.7%)	42.0% (55.1%)	↑	・中主ライン、蒲生日野ライン、八日市蒲生ライン、竜王ラインおよび甲賀ルート（和田川水管橋）において管路更新工事を実施した。 ・日野ライン、長峰ラインの詳細設計を実施した。	◎
施設の計画的な更新 水道施設の耐震化	工水	管路の耐震化率（耐震適合率）	15.6% (18.6%)	15.7% (18.6%)	↑	・湖南団地ラインにおいて管路更新工事を実施した。 ・竜王山之上ラインおよび栗東六地蔵における調査・測量・設計を実施した。	◎
施設の浸水対策	用水	浸水対策の進捗	6箇所	6箇所	↑	目標どおり馬淵浄水場、南津田導水ポンプ場の対策を実施し、全て完了した。	◎
施設の浸水対策	工水	浸水対策の進捗	2箇所	1箇所	↑	菩提寺加圧ポンプ場は令和5年度に完了した。彦根浄水場は令和6年度の出水期までに完了予定。	○
持続：社会の変化に適応した持続可能な経営を推進します							
健全経営の維持	用水	経常収支比率	100%以上	117.3%	↑	4,562,133千円 / 3,890,440 = 117.3%	◎
健全経営の維持	用水	給水収益に対する内部留保資金の割合	100%以上	145.7%	↑	5,995,704千円 / 4,114,867千円 = 145.7%	◎
健全経営の維持	工水	経常収支比率	100%以上	121.3%	↑	1,112,822千円 / 917,059千円 = 121.3%	◎
健全経営の維持	工水	給水収益に対する内部留保資金の割合	100%以上	465.8%	↑	4,458,232千円 / 957,192千円 = 465.8%	◎
地域経済の活性化への貢献	共通	県内産バルブの使用率	100%	100%	↑	県内で生産されている規格のバルブを使用する工事については、全て県内で生産されたバルブを使用した。	◎
人材育成と技術継承	共通	若手水道技術職員の資格取得件数	4件	4.2件	↑	・企業庁研修実施3箇年計画および資格取得3箇年計画の更新を行った。 ・3箇年計画に基づき本年度の実施計画を策定し、対象者に対して研修・資格取得を促し、概ね予定通り取得できた。	◎
環境に配慮した取り組み	共通	過去5年間のエネルギー使用原単位変化率対前年比	-1%	0%	↓	・過去5年間において、大規模ポンプなどの更新工事がなく、水融通の適正化など運用面での改善を試みたが、1%以上の改善には至らなかった。	○
環境に配慮した取り組み	共通	浄水発生土の有効利用率	100%	100%	↑	全て建設リサイクル土として有効利用した。	◎
地域、社会の理解促進	共通	水道事業見学者の理解度	90%	100%	↑	小学生および一般を対象に延べ1,228人の浄水場見学の受入れを行った。見学終了後に理解度を尋ねたところ、全員の理解が得られた。	◎